【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成30年12月27日(2018.12.27)

【公開番号】特開2018-37879(P2018-37879A)
【公開日】平成30年3月8日(2018.3.8)
【年通号数】公開・登録公報2018-009
【出願番号】特願2016-169861(P2016-169861)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｂ　11/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｍ　1/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｍ　11/00　(2006.01)
Ｇ１０Ｌ　19/018　(2013.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｂ　11/00　Ｃ
Ｈ０４Ｍ　1/00　Ｈ
Ｈ０４Ｍ　11/00　３０２
Ｇ１０Ｌ　19/018

【手続補正書】
【提出日】平成30年11月19日(2018.11.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４８】
ＴＴＬが「０」より大きければ、復調部２２から受けた相関値を用いて、音波送信確率Ｘを計算する（ステップ１０２）。具体的には、相関値が大きいほど音波送信確率が小さく、相関値が小さいほど音波送信確率が大きくなるよう、次の式で算出する。
Ｘ＝１－（相関値）
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５５】
音波送信確率Ｘで音波を送信する場合は、通信端末が音波を受信して中継したことがわかるよう、ＴＴＬを「１」減じ（ステップ１０７）、更新したＴＴＬを音声生成部２５に出力して音波送信を指示する（ステップ１０８）。